青山学院大学

【部　長】宋 連玉
【監　督】太田浩史
【創部年】1965 年
【所在地】東京都渋谷区渋谷４－４－２５
【2015 年部員数】24 人
【ＯＢ総数】約 200 人

《チーム紹介》

【発足】1964 年東京オリンピックの日本レスリングの勝利でレスリング熱が盛り上がっていた頃、高校時代にレスリングの経験のある選手が数名集まって同好会としてスタート。日本協会の役員としてトルコ語の通訳をしていた４年生の本田賀文のパイプで、青山レスリング会館で練習し、オリンピック金メダリストの市口政光氏ほか日本のトップ選手が時に指導してくれるなど、好条件での船出だった。

【沿革】同好会時代の 1966 年に東日本学生リーグ戦に初出場し、三部リーグで６位（７大学中）の成績でスタート。68 年に部に昇格。スポーツ推薦制度もできた。1971 年のリーグ改編で二部リーグに所属し、同年２位へ。一部Ａ組最下位の東北学院大が入れ替え戦を棄権したことで、参加６年目で一部昇格を果たした。

同年の全日本学生選手権では、グレコローマン 68kg 級で日置隆丸が勝ち、本大学から初の学生王者が誕生した。

一部リーグのデビュー戦となった 1972 年はＢ組で５戦全敗。入れ替え戦でも敗れて二部リーグへ逆戻り。その後、二部２位で入れ替え戦に出ることはあっても、一部昇格は実現しなかった。

1983 年には大学の情実入学が発覚し、推薦入試が廃止へ。部員が集まらすに廃部寸前の時期もあったが、新しい推薦制度によって息を吹き返し、1991 年には太田浩史が全日本学生選手権グレコローマン 82kg 級で優勝。20 年ぶりの学生王者が誕生した。

合宿所ができた 1996 年には一部Ｂ（下位）グループで優勝。創立 31 年目にして初めて「優勝」を経験。新人選手権での優勝選手も輩出するようになり、1997 年全日本大学選手権 58kg 級で橋本秀明が本大学の選手として初優勝。

現在までに、学生王者９人（フリースタイル２人、グレコローマン７人)、大学王者 12 人（フリースタイル５人、グレコローマン７人)、新人選手権王者 20 人（フリースタイル７人、グレコローマン 13 人)、ＪＯＣ杯王者 12 選手（フリースタイル２選手、グレコローマン 10 選手）が誕生した。

2007 年にはＯＢの長谷川恒平が、男子グレコローマン 55kg 級で本大学ＯＢとして初の全日本王者へ。2011 年まで５連覇し、2012 年ロンドン・オリンピック出場、2010・14 年アジア大会連覇など、世界の晴れ舞台で活躍した。

【今後の展望】2014 年に長谷川恒平が大学職員に採用され、翌 15 年には全日本大学選手権２位の実績を持つ松田健吾が新卒で大学職員へ。若い２人のコーチの加入により、一部リーグ優勝、全日本王者・オリンピック選手輩出を目指す。

2014 年からは、０人または１人程度だった女子の強化にも取り組み、同年にはアジア・ジュニア選手権へ選手を派遣。2020 年東京オリンピックで女子の代表選手輩出も目標としている。

（以上、40 字×33 行＝原稿用紙なら３．３枚程度。文字数は 1074 字）